

第 2 4 回

奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会

日 時：平成 2 1 年 3 月 3 1 日（火）

午後 6：00～

場 所：奈良市人権啓発センター 3階大会議室

次 第

開 会

1. 議 事

- (1) 第 2 3 回策定委員会議事録概要版の確認
- (2) ごみ焼却施設の候補地選定について
- (3) その他

閉 会

(事前配付資料一覧)

資料 5 0 第 2 3 回策定委員会開催概要及び議事録概要版 (案)

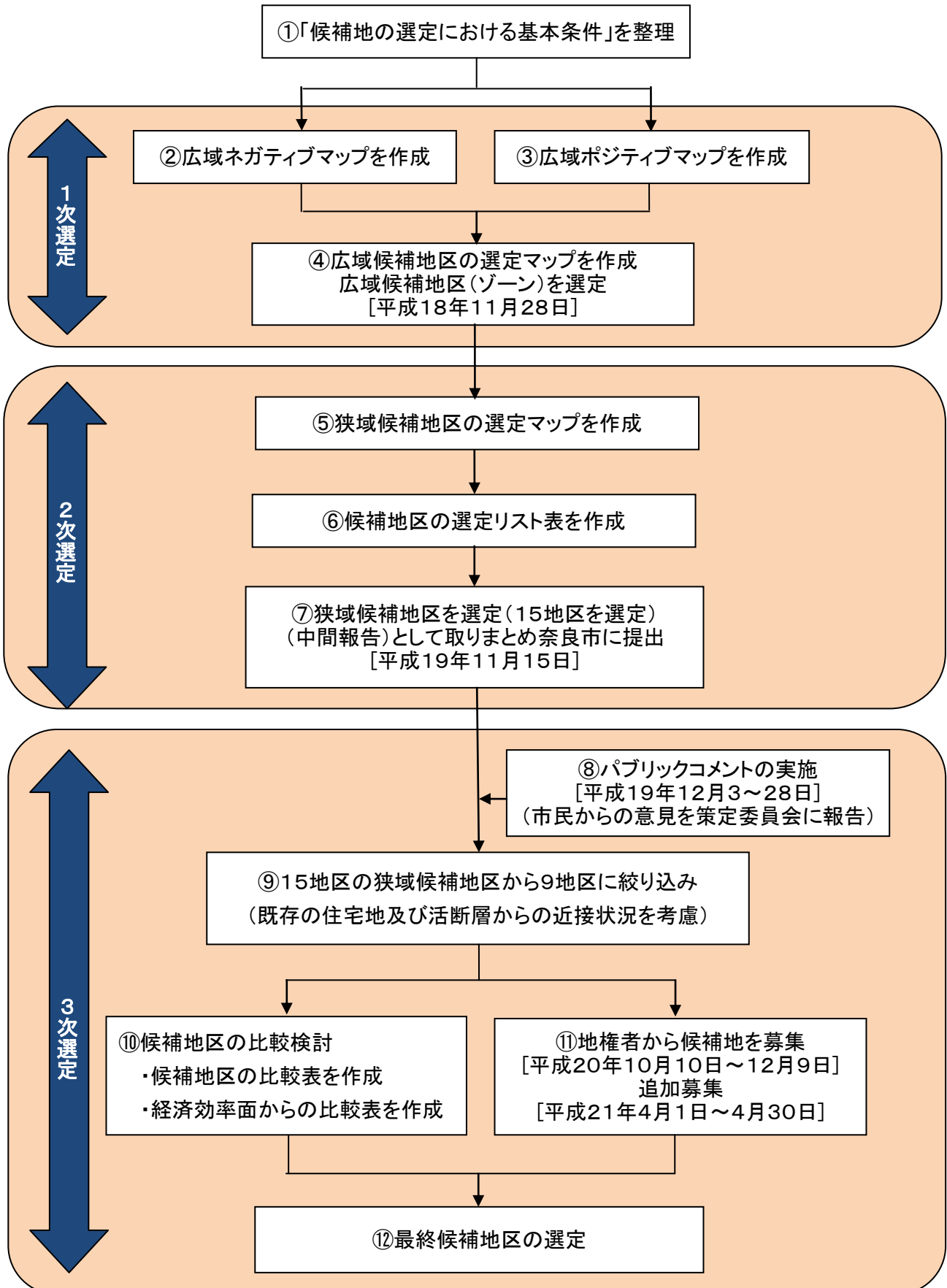
資料 5 1 最終候補地区の選定方法について (案)

《策定委員会の開催概要》

- ・ 第 2 4 回策定委員会開催概要及び議事録概要版

最終候補地区の選定方法について (案)

選定フロー図



選定方法について

最終候補地区の選定については、これまでの策定委員会における協議・検討経過を踏まえながら、別紙の「選定フロー図」にもとづき総合的な比較評価により、候補地区を絞り込む方法が考えられます。

次の事項を「比較評価の内容」として整理し、それぞれの評価の方法について検討します。

- 1) ⑧ (中間報告)におけるパブリックコメントでの「市民からの意見」
- 2) ⑩ 候補地の選定における基本条件による「候補地区の比較検討」
- 3) ⑪ 地権者からの「候補地の募集結果」

【最終候補地区の選定に向けた評価の方法(案)】

〔Ⅰ〕 ⑩ 候補地区の比較検討

(「候補地の選定における基本条件」による比較表、経済効率面からの比較表により評価する)

- ・「候補地の選定における基本条件」での評価項目の整理として i) 地権者の協力、ii) 経済効率、iii) 生活環境、iv) 自然環境などの4項目に集約し、各項目別にプラス要因、課題等を整理した候補地区の比較表を作成する。
- ・経済効率面(インフラ整備費、収集運搬コストなど)からの比較表を作成する。

〔評価の方法〕

第1案 評価点による比較

- 1) 候補地区の比較表をもとに、各評価項目を3段階評価(例えば ◎3点、○2点、△1点)により評価し、候補地区ごとの評価点として集計する。
- 2) 集計結果にもとづき、高い評価点が得られた上位数箇所程度を候補地区として絞り込む。(残りの候補地区については、以後の評価対象から除外する。)

第2案 比較表には評価点を付けない

- 1) 候補地の比較表には評価点を付けず、最終候補地の選定における検討資料として反映させる。(第23回の策定委員会に取りまとめた比較評価の内容にとどめておく。)

〔Ⅱ〕 ⑪ 地権者からの候補地を募集

(地権者からの応募結果により評価する)

平成20年10～12月に実施した移転候補地の募集、及び平成21年4月に実施する追加募集の応募結果を受け、応募された内容を精査し比較評価を行う。

〔評価の方法〕

第1案 評価点による比較

- 1) 応募された内容(応募面積、土地の形状、幹線道路への接道条件等)について精査し、各候補地を3段階評価(例えば ◎3点、○2点、△1点)により比較評価し、候補地区ごとの評価点として集計する。
- 2) 応募がなかった候補地区については、マイナス評価とする。
- 3) 集計結果にもとづき、高い評価点が得られた上位数箇所程度を候補地区として絞り込む。

む。(残りの候補地区については、以後の評価対象から除外する)

第2案 応募結果には評価点を付けない

- 1) 第2 2回策定委員会で報告した応募結果(資料4 7での受付状況一覧表、応募箇所の地図)の整理内容にとどめ、最終候補地の選定における検討資料として反映させる。

〔Ⅲ〕 ⑫ 最終候補地の選定

「⑩候補地区の比較検討」、「⑪地権者からの候補地を募集」による各候補地区の比較評価をもとに、総合的な評価により最終候補地区の選定を行う。

ステップ1

〔絞込み方法 1案〕 評価点を用いた絞込み方法

- 1) ・⑩での評価点による比較、及び⑪での評価点を候補地区ごとに集計した結果を整理する。(集計結果については、公表とする)
・評価点の高い候補地区、並びにパブリックコメントにおける市民からの意見をもとに、策定委員会において協議・検討した後、候補地区を数箇所に絞り込み公表する。

〔絞込み方法 2案〕 各委員からの意見の集計による絞込み方法

- 1) ⑩での候補地の比較検討資料、及び⑪での地権者からの候補地の応募結果、並びにパブリックコメントにおける市民からの意見をもとに、策定委員会の各委員が最も適した候補地区と考える上位1～3地区(出来れば選定理由も記載)を選んでもらう。
- 2) 各委員からの意見結果を集計し、選ばれた上位数箇所を候補地として策定委員会において絞り込み公表する。(集計結果及び意見については無記名による公表とする)

ステップ2

〔最終候補地の選定方法 1案〕

- 1) 絞り込まれた候補地区において、地元説明会等を開催し、地元住民、地権者等との協議を行い、住民の意向、課題、要望事項等を把握する。
- 2) 地元説明会等での協議結果をもとに、策定委員会での総合的な判断を加えて最終候補地区を1箇所選定し、奈良市に報告する。

〔最終候補地の選定方法 2案〕

- 1) 策定委員会において協議・検討した後、最終候補地区として数箇所を選定し、奈良市に報告する。(報告を受けた資料については、公表とする)
- 2) 選定された数箇所の候補地区において、策定委員会の委員が参加した地元説明会等を開催し、地元住民、地権者等との協議を行い、住民の意向、課題、要望事項等を把握する。
- 3) 地元説明会等での協議結果をもとに、策定委員会と奈良市により協議・検討を行い、最終候補地を1箇所選定する。

候補地区の絞り込み方について（他都市の参考事例）

（静岡県浜松市の事例）

- ① 新施設の建設に係る行政職員の委員による「建設事業検討委員会、専門研究会」を設置し候補地選定を進める。
（新清掃工場及び余熱を利用するための新水泳場建設事業用地を併せた候補地を検討）
- ② 浜松市全域を対象にして移転候補地を選定するため、本市と同様に1次選定、2次選定、3次選定の方法により各候補地の絞り込み作業を進め、二次選定では7箇所候補地区を選定した。
- ③ その後、3次選定における候補地の選定条件の調査項目により、各候補地区ごとに3段階（◎、○、△）での比較評価により、最も高い評価点となった地区を最終候補地区として決定した。

（長野県長野市の事例）

- ① 学識経験者、市会議員、公募市民など15名が参加した「長野市ごみ焼却施設建設地検討委員会」を設置し候補地選定を始める。
- ② 長野市全域を対象に移転候補地を選定するため、候補地の選定条件を定め、候補地エリアの選出作業を進める。
（第1段階の絞り込みにおいて、18箇所のエリアを選出）
- ③ 候補地エリアの絞り込み（第2段階）においては、候補地の選定条件により、11項目の評価内容を設定し、それぞれの項目を3段階（◎、○、△）での比較評価点により各候補地エリアごとに集計し、評価点の高い5箇所のエリアに絞り込んだ。
- ④ 5箇所のエリア内の11箇所の候補地区について新たな評価項目を加えて、3段階（◎、○、△）での比較評価点により、各候補地区ごとに比較評価結果を集計した。
- ⑤ 最後に、比較評価結果を参考にして、各委員それぞれに最も適した候補地区と考えられる場所を2箇所選んでいただき、その結果を集計し最も多くの意見により選ばれた2箇所を最終候補地区として決定し、市長に報告された。

〔整理方法〕

- （1）最も優位と判断した候補地、（2）優位と判断した候補地 の2箇所

（参考）

長野市ホームページにおける環境第一課の「長野市ごみ焼却施設建設地検討委員会」で委員会の情報、比較評価結果等が公表されています。

(長野県伊那市の事例)

- ① 学識経験者、市会議員、公募市民など23名が参加した「伊那市新ごみ中間処理施設用地選定委員会」を設置し候補地選定を始める。
- ② 用地選定評価項目を決定した後、広域連合による用地選定結果、及び候補地受け入れ表明のあった地区を含めて、検討対象地域として13箇所を決定。
- ③ 点数評価の評価基準（項目・評価点・計算方法）を決定した後、環境保全項目、建設関連項目の2つに集約し、それぞれの項目で点数の低い6地点を除外し、検討対象地域として7地点を選定する。
- ④ これ以上の絞込みは行わず、7地点を候補地として、委員による投票を行うことを決定。
- ⑤ 比較評価点の集計結果を参考に、各委員それぞれに最も適した候補地区と考えられる場所を投票し、開票の結果に基づいて協議した結果、得票数で1位となった地区を最終候補地とすることを全会一致で決定し、市長に報告された。

(参考)

伊那市ホームページにおける「新ごみ中間処理施設」で委員会の情報、比較評価の集計結果、地元説明会での概要等が公表されています。

1、追加募集文案

奈良市ごみ焼却施設移転建設候補地の追加募集について

奈良市では、現在のごみ焼却施設を移転し、新たに循環型社会形成の推進を図る施設として建設するため、平成18年2月に「奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会」を設置しました。

以後、当策定委員会では、移転候補地の選定及び施設整備のあり方について慎重に協議・検討を進めてきました。

平成19年11月には、15箇所の候補地選定を主旨とした「中間報告」を奈良市長に提出し、その後、奈良市では、パブリックコメント手続きによる市民の皆様方からの意見募集を行い、当策定委員会では、頂きました貴重なご意見を参考にしながら最終候補地選定に向けての検討を行っているところです。

候補地選定にあたっては、地権者や周辺住民の皆様のご理解とご協力を得られることが最も重要であると考えており、当策定委員会で移転候補地として検討している9地区内及び隣接地域において、昨年10月から12月にかけて候補地を募集いたしました。

応募件数が予想より少なかったため、より多くの地権者の皆様方からのご応募をいただきたく、今回、改めて追加募集をすることになりました。

応募いただいた候補地につきましては、昨年のお応募と合わせまして当策定委員会において慎重に協議のうえ評価を行い、最終候補地の選定に向けて反映させていきたいと考えておりますので、多数のご応募をお願いいたします。

以上

平成21年4月1日

奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会

委員長 郡 巖 孝

第24回策定委員会開催概要及び議事録概要版

件名	第24回 奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会	
日時	平成21年 3月31日 (火) 18:00~19:45	
場所	奈良市人権啓発センター 3階大会議室	
出席者	委員	片山信行、國領弘治、阪本昌彦、佐藤真理、田中啓義、田中幹夫、坊忠一、三浦教次、元島満義、森住明弘、安田美紗子、山口裕司、吉岡正志、吉田隆一、四元信義、渡邊信久
	事務局	岩井部長、仲参事、山下課長、堀内工場長、吉住課長、松本補佐、森嶋補佐、平木主任、深村主任
	コンサル	館田剛志、大木雄介
記録作成者	奈良市施設課	
配付資料	資料50 第23回策定委員会開催概要及び議事録概要版 (案) 資料51 最終候補地区の選定方法について (案) 参考資料 追加募集文案	
会議内容		
<p>開 会</p> <p>部長挨拶</p> <p>1. 議 事</p> <p>(1) 第23回策定委員会議事録概要版の確認</p> <p>(2) ごみ焼却施設の候補地選定について</p> <p>(3) その他</p> <p>閉 会</p>		

	議 事 要 約 内 容
事務局(森嶋)	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回は奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会の第24回目の会合でございます。
事務局(岩井部長)	「部長挨拶」
事務局(森嶋)	<ul style="list-style-type: none"> ● 委員総数21名の内12名ご出席頂いており、本日の委員会は成立していることをご報告申し上げます。尚、郡島委員長、今井委員と木内委員は、ご欠席される旨のご連絡を頂いております。
	<p style="text-align: center;">議事の進行は、渡邊委員長代理にお願い致します。</p>
	<p>1. 議 事</p> <p>(1) 第23回策定委員会議事録概要版の確認</p>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 第24回の策定委員会を始めさせていただきます。 <p>資料の確認ですが、資料50が議事概要版で、資料51が最終候補地区の選定方法について（案）、参考資料として、追加募集の文案が、お手元にあるかと思えます。議事概要について、訂正は事務局に入ってますか。</p>
事務局(森嶋)	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在のところ、特に頂いておりません。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 気付くことがありましたら、ご指摘頂いて結構かと思えます。ご意見がなければ、自動的に承認されたことにさせていただきます。 <p>9地点から絞り込み方法として、他都市の例などを踏まえ、事務局から複数の提案を説明してもらい、審議に移りたいと思えます。</p> <p>最近資料に、個人名とか地名とか、個人が特定できるもの多くて、回収をしてますけども、今回は、回収の必要を感じてないので、資料51は、今日は回収しませんので、お持ち帰り頂いて結構かと思えます。</p>
	<p>(2) ごみ焼却施設の候補地選定について</p> <p>「最終候補地区の選定方法について（案）」（資料51）の説明。</p>
事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選定フロー ・ 絞り込みの方法について（他都市の事例を参考）
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 事務局の提案はローマ数字のⅠ、Ⅱ、Ⅲと分かれています。Ⅰは候補地区の比較検討と書いて、1案と2案。1案は評価点による定量的な比較です。2案は点数は付けない定性的に、メリット・デメリットという言葉で考える方法です。二つ目はⅡ、これは公募の結果、得られた土地のリストを比較するというので、定量的な比較と定性的な比較があると。あわせて4通り方法があります。 <p>続きまして、9地点から、絞り込んで次の段階にどうするかですが、Ⅲで、数カ所に絞り込むということ、定量的、定性的に考えようということです。</p> <p>ステップ2が、最後で、2つに分かれてまして、委員会主導で最後まで決めてしまうのか。第2案が、策定委員会と奈良市によって協議・検討を行い、</p>

<p>森住委員</p>	<p>1カ所に決めるという方法であります。</p> <p>事務局が、色んな方法を提案していますが、ご意見頂きたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● まとめ方で、資料51の⑨番までは、いいのですが、⑩番、⑪番が2つ並列に並んでますが私の認識と違うところで、候補地区を比較検討する場合の重要項目は、自然と社会条件が一番目です。これは⑨番までで、やってきた訳です。2番目が、経済面でほぼ作業が終わりました。⑩の下の経済効率面からの比較表は、選定する場合の比較する一つの重要指標でしょう。並列に並べるのがおかしいんです。3つ目が、地権者の理解度あるいは協力度は、地権者に訊ねないと分からないことで、今訊ねてる最中です。これが終わると、地元住民の理解度で、重要事項の4番目。これはまだ手が付けられてない。最終決定する前に、三カ所位に絞ったうえで、住民の方がどう認識されているのかを、委員会が責任を持って訊ねに行くということ。地元説明会となっておりますが、私達が決めて、その結果が私達から見て正しいということを説明しに行くとなると、理解が得られないから、問題があると思います。
<p>田中(啓)委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 第1点は、⑩と⑪を分けるのは、しっくりこない。⑪の方は⑩における地権者の協力度の中身という気がするんです。並列するより、^{ほうまつ}包摂関係にした方が分かりよいと思います。 <p>第2点は、Ⅰ、Ⅱは、評価点による比較と、評価点をつけない比較を、1案、2案で挙げてる訳ですが、定量評価と定性評価は、どちらも完全なものではないので、双方をしながら、評価点は評価点で付ける。一方で各委員が、評価点を参考にしつつ、評価点を超えて、評価してみて、多数の意見というのを両方をやる。評価点を事務局に付けて頂いた上で、各委員もそれを参考にしながら考えていくというもので、2つの案は対比するものでなくて、両方していいのではないかということです。</p>
<p>渡邊委員長代理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 他都市の参考事例で、地元説明会という言葉も長野県では使っていたと聞こえたのですが。静岡県浜松、長野県長野市、長野県伊那市、この3カ所では、地元と協議をしたのは、候補地が1つになってからなのか、いくつかある時点で、地元と話をしたのか分かりますか。
<p>事務局(吉住)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 浜松市は、行政主導で候補地選定され、決まってから地元協議に入られ、最終的に決められたと聞いてます。長野市ですけれども、17、8回程開催され、最終的に2カ所を選んで市長に報告し、市の方で地元説明会に入ったと思います。伊那市は、最初13候補地から7地点の候補地に絞り込み、公表され、地元7地区の自治会には、説明が必要と要望を受けた場合は、出前講座的な形で10何回位説明に行かれています。地元の意見とかを委員会に報告し、最終的に委員会で、1カ所に絞って市に報告され、現在はそこの地元自治会、周辺地区も含めて、懇談会という形で、6～7回位入っておられ、まだ同意を頂いておらず、現在進行形になってます。
<p>佐藤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● この選定方法は、ポイントを整理して出されていると思ったんですが、森住先生の方から「説明会」はよろしくない。つまりステップ1で、数カ所

	<p>に絞った段階で、ステップ2で、絞り込まれた候補地区において、地元説明会を開催すると。地元住民、地権者等の協議を行い、住民の意向を伺い、要望等を把握すると。後段は目的はいい訳でしょうけど、説明会というのは、まず絞り込まれた候補地区に説明すると、言わば上から入っていくということで、非常にまずいという指摘を受けて、なるほどと感じました。地元説明会という表現はやめて、懇談会ということが出ました。協議会でしょうか。地元との協議を経て、絞り込まれた候補地区にすると。候補地区とする前に、地元と懇談をすることが必要じゃないのかな。但し、9カ所だと、無理があるので、ステップ1という作業があるのかなと。ステップ1のやり方は、評価点による比較、積み上げてきて、議論があり少しずつ補正され、委員が一定の判断を加え、数カ所に絞るのはいるのかなと。追加公募を経た段階で、事務局も評価点による比較を整理し、委員が判断をして、どういう形で出すのか、各委員の意見を突き合わせて、一定の絞りをかけて、懇談・協議していく作業がどうしてもいるんじゃないのかなと。</p>
三浦委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 先般、奈良市議会の予算委員会があり、地元議員から発言がございました。候補地が9カ所の内、6カ所までが、東部の方になってる訳ですが、ある程度絞られた段階で、地元から委員を数名入れたらどうかという提言です。またごみ焼却施設というタイトルですが、地元住民としては抵抗があるので、例えばクリーンセンターとか、ニュージャパンイン奈良グリーンセンターとかどうかと発言があったんです。このことについても、論議して頂きたいと思います。
A委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 以前から、地元の理解が非常に大事じゃないかと思ってます。369沿線に6カ所の候補地があって、東部の自治連合会が、どの程度「施設」について理解できてるのかという面も、大事じゃなかろうかなという気がしました。
吉岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 自治連合会が話に対応しなきゃならんということで、一昨年からは泉北クリーンセンター、岸和田・貝塚のクリーンセンター、今年は大阪市の舞洲の工場など見学してます。環境部会を作り勉強もしてます。新鋭設備は随分、今の奈良市の設備と技術進歩の差があるなと認識をしています。しかし一般住民の方はダーティな施設のイメージが強いですから、どう払拭するかになるかと思うんです。私もこの地元説明会は、目線が高すぎるんで、地元の方がどうお考えになってるかは、非常に重要なステップで、把握することは、慎重にしなきゃならない。数地点に絞ったあと、出前の策定小委員会みたいなものを、やってもいいと思ってますが、時期は、追加募集の後、絞り込んで、対象地域の方々と対話をする事になると思ってます。この委員会の役割は、地元に入ってお話をして、土地を取得して建てるのは市役所ですから。我々はその限界があると。そういう立場と思っています。 <p>絞り込みのやり方で、評価点による比較がありますが、三段階評価をやってもいいと思うんですが、評価項目ごとのウエイト付けは、大変難しい話。例えば地権者の協力と経済効率、生活環境、自然環境、全部同一のウエイト</p>

渡邊委員長代理	<p>やと考えるのかどうか。評価項目ごとに三段階評価をして、数字合わせだけじゃなしに、定性的評価も入れて、委員それぞれが、順番を付けたものを集計した上で、また皆で決めていくという方法かなと思っています。</p> <p>検討委員から、メンバー全員が押しかけていくとか、地域の人呼んでくるのは、査問委員会になってしまうので、緊張感が高まって、好ましくないんで、気楽に話せる雰囲気作りをしながら、我々のメンバーも絞って、地域の代表の方と懇談をする機会があってもしかるべきと思っています。</p>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 絞り込む方法で、長野県伊那市で投票というのがあって、これが気になってまして、各項目ごとに点数を付けていくと、人によっては経済効率を重視する人も、自然環境だと言われる方もおられますので、委員による投票で、何地点かを決める。投票というのは、定性的なことを重視する委員、定量的なことを重視する委員が、どちらがいても一票あるいは、得点を書き込む形で投票できますので、やりたいと思うんです。次回、すぐに投票しましょうという訳にはいきませんで、明日から追加募集始まります。
森住委員	<p>木津川市の焼却施設が、どうなっているか情報が新聞に載りましたかね。その状況を分かる人がいたら、簡単でもいいですが。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新聞によると、5カ所位行政の責任で決めて、その中からどれを選ぶかは、住民参加の委員会を決めたいと新聞に書かれてました。候補地の地名は書いてあったと思います。奈良市が検討している東部地区と案外近いところもあるらしいです。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 兵庫県と大阪府の境で、伊丹市と豊中市、どちらも兵庫と大阪ですけども、二つの自治体でグループになって焼却施設を持っているところもあります。
事務局（仲）	<ul style="list-style-type: none"> ● 私どもも、新聞は見てますが、木津川市さんとは、話はしてませんので、次の委員会には、新聞記事も配り報告したいと思います。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 木津川市と共同でという可能性もあると思ってるんです。その情報も次回お願いします。僕が言い出した投票はどうですか。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 定量評価と定性評価は、事務局にどういう方法があるか、具体例調べて頂いて、全部やった方がいいと思います。外から見て、我々に都合のいい方法が採られたと言われることが考えられるので、全部調べ、結果を公表して、例えば投票制度でやると、このメンバーでやったらこうなりましたとか、点の付け方も、このメンバーで事務局に原案作って頂いたらこうなりましたと。評価結果を明らかにすること大事やと思います。どれに絞る必要ないと思う。評価原則さえ、きちんと示しておけば。どの方法でも、評価結果は水があくところがあると思います。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● あらゆる方法と言われても困ると思うので、よそでやられてるのを参考に事務局がいくつか出して頂いて、委員長代理なり若干の委員の意見も聞いて、次回の委員会5月19日までに、事務局で考えられる集計方法案を委員長代理などがチェックして、各委員に出して、集計返してもらう作業がいるんじゃないのか。次回の委員会以降には、入って頂く必要があるだろうと。東

	<p>部だけの議論が出てますが、私よくないと思うんですが、東部は数が多いだけの話で、いわば4車線が絶対条件に言われてる訳でしょ。道路問題でも研究をして頂いている訳ですから、今の段階で9カ所は並列な訳で、慎重にやらなきゃいけません、一定絞られた所と、この懇談をしていかなきゃならないことは明らかで、やり方も工夫しないとイケない訳で、一回で済むという訳にもいかないと思います。やるとなれば、集中していかなければならない。A、B、Cのどこが有力と決められないと思いますから。そこを睨んでいくと、スピードアップする必要があると思います。</p>
元島委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価点の付け方の中で、少数意見の尊重ということは大事なことで、項目の重み付けが偏見ととられないように充分意識して頂きたい。
事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 次回の資料、どう作ろうかなと考えてます。一点は、資料51のフロー図で、ご意見の基に修正して、次回提案させて頂いたらと思います。定量評価の件ですが、事務局の叩き台として、他の市町村の事例を参考に、ある程度させて頂いてます。比較表中の太文字項目は、プラス要因を示し、斜体項目は課題を示すと。表示されてないものもありますが、三段階評価で、例えば3点、2点、1点と付けて、一覧表で整理します。重み付けは、事務局で考えますので、次回の委員会の時には、これを重要視して点数を付け、点数の一覧表を整理させて頂いて、重み付けの案も作らせて頂いて検討頂くということで、概ね整理できる評価点の集計表ができると思います。 <p>今回は、追加募集の報告と定量評価の整理を検討頂くということで、各委員さんの定性評価の整理を次回までにするか、あと一回定量評価の整理と追加募集の整理も終わった時点で、一カ所か二カ所か方向性出して頂いて、定性評価の整理するとすれば、次々回になります、検討頂けたらと思います。</p>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 全員が同じ重み付けはできないと思うんですが、各項目ごとの評価は、今までの一覧表の中に入っていると。我々の頭の中では、1、2、3については余り変化することないけれど、重み付けは人それぞれ違うのではないかと思います。定性的なものも、僕は一緒にやった方がいいと思います。定量と定性と2回投票するのは、定量の結果を見ながら、考えるよりは、投票は1回だけにした方がいいと思ってるんです。
田中(啓)委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 事務局が、重み付け係数の分まで含めて1つの案を出すのではなて、各項目の点数付けに留めておいて、重み付け係数は、各委員が意見を出し合うということですか。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 委員のところ紙が配られ、社会、文化とか書いて、足したら10になり、大事と思うところに大きな数字を入れて、小さく見積もる所は1と入れて頂くと。人によっては、逆転するかもしれない。人数分だけ配って、集計するという方法はどうでしょう。
田中(啓)委員	<ul style="list-style-type: none"> ● その重み付け係数の所だけ取り上げて、数字を、投票することも含めて自分の頭の中で、項目ごとに、3、2、1と出てるじゃないですか。自分で、これ2番にした方がいいと思えば、計算したら出ますよね。そういった形で、

<p>田中(啓)委員</p> <p>渡邊委員長代理</p>	<p>委員に任せて、委員の各項目ごとの点数さえ出れば、後は委員が頭で計算して、投票してもいいのかなと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 重み付け係数だけを取り上げて、何倍にするかは抽象的な話になるので、投票した方が楽かなという気はするんです。
<p>田中(啓)委員</p> <p>渡邊委員長代理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 色々な要素を含んでいる方法は、一人当たり持ち点を100点にして、9地点に30点、30点、20点、5点、5点、5点を入れるとか、すればいいんですけども。重み付け係数を各委員ごとに付けるという形でやれば、少数意見を尊重するにしても、多くの人が経済効率の事を重視したとかが、後から分かればいいのかもしれない。
<p>田中(啓)委員</p> <p>渡邊委員長代理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 重み付け係数をするのが、イコール定性と考えていいのか。あるいはこの要素にない、係数以外の定性的な評価も点数としてまたするのは、どうなんですか。
<p>渡邊委員長代理</p> <p>田中(啓)委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 定性的な所を重要視する人は、重み付け係数が大きくなると思います。 ● 定性というのは一つの独立したカテゴリーじゃなくて、結局各項目の点数と重み付け係数があると、整理していいんですかね。
<p>渡邊委員長代理</p> <p>田中(啓)委員</p> <p>渡邊委員長代理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 最終的には、投票で数字になるとそうなると思います。 ● 重み付け係数をどういう係数をするか決めておいた方がいいんですかね。 ● 次回、どのように決めるかルールを提案して頂いて、審議してこの方法でいきたいと思います。
<p>田中(啓)委員</p> <p>渡邊委員長代理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 係数を、1倍、2倍、3倍とかあるいは5倍位までするのか、ある程度決まれば、事務局の方から、次の委員会までの間に、各委員に周知されて、それで重み付け係数の種類を提示してもらえば、掛け算をして、イコール各委員の投票みたいな形ができあがって、3つ位の塊ができあがって、次回の委員会には、報告できるところまでいきませんか。
<p>渡邊委員長代理</p> <p>事務局(吉住)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 次回5月19日には、投票の方法が決まると思いますが。 ● 4月1日から30日まで追加募集をしていますので、点数の集計も含めては、追加募集の結果を、次回の5月の時にご説明させていただきますので、それ以降の集計がありがたいです。
<p>渡邊委員長代理</p> <p>田中(啓)委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 木津川市の話も、もう少し話が見えてからの方がいいと思うので、投票行為を行うのは、5月19日の次かなと思うんです。 ● 委員長代理の考え方でいいとすれば、次回の時に各項目別の3、2、1と、重み付け係数の幅と掛け算の方法が出て考えていいんですかね。
<p>渡邊委員長代理</p> <p>佐藤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 掛け算でも、人それぞれ投票するので、足し合わせて10になるようにとか、実例を説明してもらおうと、分かり易いと思います。
<p>佐藤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● できれば次回までと言ったのですが、日程的には厳しすぎるので、撤回を致します。4月の追加での募集は、この候補地の応募状況のところが違うだけなんです。地権者の協力という項目のところが違うだけのことで、他は変わらない訳で、準備は是非して頂いて、次回には投票の仕方のサンプルを出して頂いて、各項目ごとについての◎、○、△とか、あんまり人によ

<p>田中(啓)委員</p>	<p>って差はないと思うので、重み付けが、自ずと違ってくるということだと思 うんですが、そのイメージを具体的に次回に出して頂いて、その間には、各 委員からのものを出して、集計をしたものを、次々回の時には議論できるよ うにして頂きたいなど。3カ所前後のところと協議という作業が必要で すので、日程を睨むと、いろんな要素出てきましたけど、進める観点で、そ ういうふうにやってほしいなと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 重み付け係数ですが、パーセンテージみたいな理解でもいいんですよ。 100とか10とかを、どうやって割り振るかということで考えればいい。 この要素については、自分は全体のうちの50%を重要だと考えてるんだ と。これについては30%考えてるんだということです。
<p>渡邊委員長代理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 全部足して100になればいいと。あなただけ力強いから120%というのはな しで、2カ所になるか3カ所になるか、水があくところが、多分出てくるだ ろうと。そこの地元の方と話ができる形に持っていきたいなど。
<p>四元委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 絞り込みの方法で、私は長野の例がいいと思うんですけども、候補地の選 定条件を11項目作ってます。我々が出してるのは、4項目程度なんで、項目 が少ないように思います。この中でも、1つの項目を分けた方がいいんじや ないかという気もするんです。事務局の方で、何項目位を考えておられるの か、教えて頂きたい。
<p>事務局(吉住)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈良市の調査項目は11以上ございました。項目が多すぎるので、策定委員 会で検討頂いて、この比較表のように、地権者の協力、経済効率、生活環境、 自然環境、募集結果の5つに集約されてます。3つの項目を、生活環境の一 つにまとめてまして、調査内容の漏れ落ちは現在はないと考えてます。
<p>四元委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 絞り込んで地元の方にお示しするときに、こういうことが他よりも優れて たという、きめ細かい説明が必要ではないかと思ってます。
<p>事務局(吉住)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈良市の場合は策定委員会で検討頂き、中間報告を奈良市に出して頂いて ます。どう15カ所に絞り込んだかという経緯も詳細に中間報告に載せて頂い てますので、十分に理解して頂けると思うんです。15から9に絞り込んだ内 容も、整理してHPに載せております。最終候補地選定に向かったの比較表 の理解を頂いたら、評価点にもっていく方法も、順番を踏んだ形で、資料整 理してきたので、理解頂けるのではと考えてます。
<p>四元委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 特に自然環境の中で、煙はどっちに流れるとか、水はどこに流れるとかは、 また別な勉強の仕方をしなければならないということですね。
<p>事務局(吉住)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 水の関係は、候補地区ごとの流域図を整理させて頂いてますので、上水は、 奈良市の水道からの供給で、工場に必要な水は、井戸を掘って対応をする。 排水については流域を調査しており、できるだけ排水を出さないクローズシ ステムとするなど、ある程度調査させて頂いてます。風につきましても、奈 良市の气象台とか、固定点の年間の風向とか風力の調査データは、取り寄せ られる資料については、事務局で保管してます。その場所のデータはないか も分かりませんが、固定点の風向のデータは、資料として持ってますので、

<p>渡邊委員長代理 佐藤委員 渡邊委員長代理</p>	<p>それでご説明させて頂く対応をしたいと考えてます。</p> <p>事務局案を作るに当たり、策定委員会のどなたかに相談させて頂いて、方向付けできる資料整理をしたいと思いますので、ご相談できる方を。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● どなたかこの重み付けの方法について、資料作りでお手伝い頂ける方。 ● 委員長代理と森住先生で。 ● そうですか。森住先生と私で。では追加募集の文章、参考で付けて頂いてますので、説明をお願い致します。
<p>事務局(森嶋)</p>	<p>「追加募集について」(参考資料) 説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の募集文章をベースに佐藤委員に校正をして頂き、渡邊委員長代理にご確認を頂き作成。 ・4月1日付で、明日送らせて頂く予定。
<p>事務局(森嶋)</p>	<p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人事異動の報告」 ・「日程調整」
<p>渡邊委員長代理 事務局(仲) 渡邊委員長代理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 次回は決まっております、5月19日です。次々回は、6月半ば位ですか。 ● 6月は議会が始まりますので、6月下旬でお願いしたいのですが。 ● 次回が5月19日、その次が6月23日火曜日でお願い致します。もしも何か都合悪ければ、次回で日程変更するかもしれないということで。終わりましたか。
<p>事務局(森嶋)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 皆様方には、長時間に渡りご審議頂き、誠にありがとうございました。尚、次回策定委員会は、5月19日の開催でございます。本日はこれを持ちまして閉会とさせていただきます。